

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援事業所 あおぞら		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 1日		R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	R8年 2月 10日		R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・満足度	・職員との良好な関係性や楽しい遊びの中で専門性のある支援を行うよう心がけております。『あおぞらに行きたい・たのしい』と思ってもらうところから療育のスタートだと思っております。	・今年度はボードゲームを使った支援を多く行ってみました。引き続き『たのしい』を引き出すことが出来るよう支援を行っていきます。
2	・適切な支援の提供	・今年度は支援の新たな開拓として『療育全体』を大きく掲げて支援をまいりました。体に対してアプローチを行う、誰でも簡単に始められるところに着眼し、保護者の方々にもお伝えしています。	・自主的に4名のスタッフが療育整体師の資格を取得しました。今後とも専門性の高い支援をしていけるよう頑張っております。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・適切な支援の提供	・現状として放課後児童クラブや児童館との交流は行えていません。	・今年度から地域生活支援センターせいすいの中でマルシェを開催しました。地域の方々にも多く参加していただき、ありがたく感じています。次年度は更に規模を大きくし、近隣の学童や学校等にも宣伝を行って参ります。
2			
3			